

J A 宮崎県女性協結成 50 周年記念事業 食文化の再構築にともなう郷土料理集作成にあたって

部員の皆様には、日頃から温かいご支援ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

J A 女性部が昭和 31 年に結成され、今年 50 周年を迎えることになりました。

その記念事業の一つとして、農村女性の知恵と技を次世代に伝授していく役割を果たすために郷土料理集を作成いたしました。

各組織には、郷土料理や行事食、お菓子などの掘り起こし、そして料理撮影などご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、J A 女性部は、それぞれの生活・農業を守り高めることや地域活動など広い分野にわたり活動してまいりました。

結成当時、戦後 10 年とはいえ、日本は復興の過程であり、農村はまだまだ貧しい状況にありました。

そのようななかで、先輩方の努力により“農協婦人部”が創立され、学習を基本に熱心な活動展開のうえに、現在の組織があることに喜びと誇りを感じます。

50 年という歴史変遷には、めざましい経済の発展とともに人々の生活も大きく変化しました。

農村の食生活は質素なものではありましたが、自給自足があたりまえで、野菜をどっさり入れた汁物や煮つけ、四季折々の行事食や晴れ食を怠らず、健康的で豊かな食生活がありました。また村人が支えあい助け合って、冠婚葬祭の膳を出す慣わしもありました。現在も引き継がれている地域もありますが、その慣わしも徐々に消えつつあります。

また、外食産業の発達や便利なインスタント食品があふれ、食の簡便化が一層すすんでおり、健康の保持が憂慮される状況にあります。

近年、農業の重要さ、田舎暮らしが見直されており、地産地消運動が広まるなかで、食と農への関心が高まっています。

今こそ、農村女性が持ち合せている調理や加工などの知恵や技を次世代に伝承していくことが極めて大切な活動であると考えます。

今回作成した“郷土料理集”が部員はもとより、次世代や一般の方々に広く活用されることを願っております。

平成 17 年 3 月

J A 宮崎県女性組織協議会
会長 佐藤 恭子